

2009年度事業報告書

自 2009年4月1日 至 2010年3月31日

特定非営利活動法人 りあん

I 全体の概要

障害のある人々が地域であたりまえに生活していける社会の実現を図るため、障害のある人の自立・生活支援や、誰もが暮らしやすい街づくりに関する提言などを行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とし活動した。

居宅支援・外出支援ともに事業規模が計画よりも大きくなった。必要に迫られ対応した結果である。

5月～夏にかけて、新型インフルエンザの感染拡大による対応に追われた。事前に対応を検討してはいたものの、緊急的な対応の中で判断に迷うことも多くあった。利用者さんの生活と感染予防という狭間での判断は、非常に苦しいものであった。やむなくヘルパー利用を断らざるを得ない場面もあり、利用者さんには迷惑をかけた部分もあった。

夏に、ヘルパーを利用されている方を対象にアンケートを実施した。ヘルパーの対応、人手不足、連絡の付きにくさ、などについて様々な意見を頂いた。結果、個別の対応に配慮することはもちろん、研修の実施、連絡を密にする、従業員を増員する、などの方針を立てた。(集計など詳細の報告は通信10号に掲載)

従業員について、次年度5月末をもって現事務員が退職の予定であることと、全体に従業員を増やす方針であることから、1月と3月に増員している。また初めて折り込み広告による求人を試みたが、思いのほか大きな成果が得られ、5名の登録ヘルパーの雇用につながった。

II 事業の記録ならびに成果

1. 居宅支援事業

事業内容 滋賀県指定 居宅介護事業所「地域生活サポートセンターじゅふ」および、
滋賀県指定 訪問介護事業所「地域生活サポートセンターじゅふ」の運営

実施日時 通年

実施場所 事務所及びサービス対象となる障害のある人宅又はサービス提供先など

対象者 滋賀県内在住の障害のある人で、各市町より自立支援給付を受給している人、
または、介護保険の認定を受けている人。

県内各市の自立支援給付利用者と契約を結び、希望される居宅介護を実施した。常勤・非常勤あわせて約50～60名程度の従業員により、365日・24時間の支援を実施することができた。介護保険制度の利用は無かった。

夜間も含め、継続した支援により、安定した生活の応援ができた。特に年度途中、生活状況の変化により急激に多くの応援が必要となった方があった。それまでの関わりからコーディネーターも含め対応することになり、かなりの時間を割いた。幸いその方の友人や他事業所の協力も得、何とか対応できた。緊急的な状況をしのげたのは、旧友による支えが大きかったように思う。居宅介護のヘルパーによる支援体制が安定するには、半年以上の期間を要した。

他の主な成果として以下が挙げられる。

- ・継続して余暇支援を行うことにより、余暇の充実を応援することができた。
- ・サービス実施記録を実施し、特に学生など経験の少ない者に対するフォローに役立てた。

また、年度途中より、福祉・介護の雇用環境を改善し、人材需要に応えることを目的とした新たな助成制度が始まった。当事業もその対象となるため助成を受け、賞与として活用した。

2. 外出支援事業

事業内容 各自治体委託 移動支援事業の実施

実施日時 通年

実施場所 事務所及びサービス対象となる障害のある人宅又は外出先など

対象者 大津市・草津市・栗東市・守山市・野洲市・東近江市・長岡京市在住の障害がある人で、各市より必要と認められた人

県内外7市と移動支援事業の委託契約を交わし、外出時の支援を実施した。特に車両を使用した移動に対応する事業所が少ないこともあり、依頼が多くある。当事業所で応えきれない場合もあるが、利用者の困ることのないよう、他事業所とも連携し、事業を実施した。

※以下の3表は、居宅支援事業と外出支援事業を含む利用者数(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大津市	43	39	42	45	44	44	43	43	42	42	45	42
栗東市	2	1	1	2	2	1	1	1	2	1	1	1
草津市	8	5	4	6	8	5	6	5	7	6	6	7
守山市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
野洲市	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5
東近江市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
安土町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
長岡京市												1
合計	61	53	54	61	62	58	58	57	59	57	60	59

(参考:2007年度 月当たり合計利用者数 53名~60名)

(参考:2008年度 月当たり合計利用者数 52名~58名)

・グループ支援のみの利用は人数にカウントしていない。

介護種別利用時間数(時間)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	121.5	148	123.5	145	167	126.5	119	119	150.5	141.5	119.5	152.5	1633.5
家事援助	68	71.5	63	65	67.5	63	59.5	55	63	58.5	55.5	62.5	752
通院介護	6.5	16.5	9.5	17.5	16.5	20.5	24.5	30	12	16	14.5	18.5	202.5
行動援護													0
重度訪問介護	1116.5	1052.5	1132.5	1164	1404	1501	1284	1184.5	1334.5	1343.5	1210	1236	14963
移動介護	255	201.5	243	276.5	257	251	233.5	243.5	207	228	229	260.5	2885.5
グループ支援	91	38	101	76	126	24.5	148	34	60	45.5	90.5	25.5	860
合計	1658.5	1528	1672.5	1744	2038	1986.5	1868.5	1666	1827	1833	1719	1755.5	21296.5

(参考:2007年度 合計時間数 19,136時間)

(参考:2008年度 合計時間数 20,839時間)

時間帯別利用回数(回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日中	218	216	215	221	228	212	210	204	219	199	168	203	2513
早朝/夜間	211	191	222	225	252	238	232	197	229	236	235	235	2703
深夜	79	73	71	91	103	96	99	87	101	95	95	98	1088
回数	508	480	508	537	583	546	541	488	549	530	498	536	6304

・日中 8:00-18:00

・早朝/夜間 6:00-8:00/18:00-22:00

・深夜 22:00-6:00

・グループ支援は人数ではなく回数でカウントしている。

従業員数(実働)(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤	ヘルパー	4.25	4.25	4.25	4.25	4.25	4.25	4.25	4.25	4.25	5.25	5.25	6.25
	相談支援員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	事務員	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
非常勤ヘルパー		49	50	54	53	51	52	52	42	53	53	56	51

※常勤に少数があるのは勤務時間の按分による常勤換算のため

例)相談支援員の1名は2名の常勤換算(0.75+0.25=1)

※ヘルパーには、居宅支援事業と外出支援事業を含む

3. 相談支援事業

事業内容 大津市委託 相談支援事業、ならびに障害程度区分認定調査
および、滋賀県指定 相談支援事業の実施

実施日時 通年

実施場所 事務所及びサービス対象となる障害のある人宅など

対象者 主に、大津市内、及び滋賀県内在住の障害がある人

大津市より委託を受ける市内7つの事業所のうちの1つとして相談支援事業を実施した。福祉サービスを利用する人の相談窓口として、情報提供、利用計画の作成など相談全般を担う。また市より依頼を受け、障害程度区分認定調査を実施した。4年目となり、相談はますます増加傾向にある。主な相談内容は以下の通り。

相談内容別件数(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉サービス利用等	103	130	98	97	28	67	86	48	19	59	48	53	836
障害や病状の理解	-	-	4	0	0	0	6	2	0	0	1	13	26
健康医療	6	12	49	23	5	8	19	8	3	13	0	3	149
不安の解消・情緒安定	-	-	9	21	6	13	5	6	7	6	5	5	83
保育・教育	-	-	3	2	3	1	0	0	0	0	1	0	10
家族関係・人間関係	-	-	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
家計・経済	-	-	5	0	0	2	3	0	0	0	0	0	10
生活技術	4	1	5	2	2	10	14	5	6	9	3	18	79
就労	0	1	1	0	0	0	2	3	1	1	0	1	10
社会参加・余暇活動	-	-	3	1	0	1	8	2	4	0	0	0	19
権利擁護	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
その他	10	12	3	1	0	0	22	7	2	12	9	11	89
合計	123	156	180	147	44	103	165	81	43	100	67	104	1,313

相談方法別件数(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	35	27	22	20	8	14	23	7	10	9	8	16	199
来所	0	2	1	2	0	1	2	1	5	4	2	2	22
同行	-	-	3	8	3	2	1	1	2	1	1	5	27
電話	79	107	17	40	12	22	27	14	5	17	8	21	369
メール	3	9	13	0	2	3	3	0	3	4	4	1	45
会議	3	2	3	1	3	0	1	1	0	1	1	3	19
関係機関	-	-	110	71	15	61	97	49	17	60	42	56	578
その他	3	6	11	5	1	2	11	8	1	4	1	0	53
合計	123	153	180	147	44	105	165	81	43	100	67	104	1,312

4. 福祉輸送事業

事業内容 特定旅客自動車運送事業の実施
実施日時 通年
実施場所 事務所及びサービス対象となる障害のある人宅又はその外出先など
対象者 滋賀県内在住の障害のある人で必要と認められた人

2006年より、ヘルパー利用時の乗車について、事業所として運送事業の許可が必要となった。43条(2006.7)、および78条(2007.10)の許可を受け、実施している。

大津市の移動支援事業に限っては、乗車中も支援時間として算定できるため、福祉輸送料金の徴収はない。福祉輸送の対象となっているのは、大津市以外の移動支援事業、居宅介護(通院介助・身体介護など)、重度訪問介護の利用時に、乗車中は介護給付の時間とせず、料金を徴収している場合に限っている。

福祉輸送利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数(人)	16	14	14	15	14	17	15	12	16	16	16	17	182
利用件数(件)	63	54	64	58	57	63	63	49	74	58	61	67	731
走行距離数(km)	687	568	647	651	605	759	634	686	748	587	662	731	7965

(参考:2007年度 利用件数 525件)
(参考:2008年度 利用件数 630件)

5. 私的居宅支援事業(ちゅぷ)

事業内容 私的居宅支援事業「ちゅぷ」の実施
実施日時 通年
実施場所 事務所及びサービス対象となる障害のある人宅又はサービス提供先
対象者 滋賀県内在住の障害のある人

当事業は以下の3点を主な目的として実施している。

- ①制度の狭間などにあり居宅介護を利用できない人のニーズに応えること
- ②資格を持たない人も関わることができること
- ③成果を上げることでその必要性を行政に訴える材料とできること

幸いにも、制度によって実施できる内容が拡がり、当事業の利用はわずかである。

私的居宅支援事業(ちゅぷ)利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
利用件数(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2

(参考:2007年度 利用件数 38)
(参考:2008年度 利用件数 14)

6. 研修開催事業

事業内容 県の指定を受けて居宅介護従業者養成研修事業を開催
 実施日時 年1回(別記)
 実施場所 瀬田北市民センターおよび大津・湖南周辺の地域
 対象者 障害のある人の支援に関わる人および関わろうとする人

今年度も、より多くのヘルパーを確保するため、研修を開催した。草津市に所在するNPO法人ディフェンスとは、研修開催の時期をずらすことで、共に協力体制を取っている。例年通り龍谷大学の協力を得て、授業時間内に研修の宣伝機会をいただくことで、多くの学生受講者を募集出来た。

実施研修内容	実施期間	会場	定員	希望	受講	修了
重度訪問介護従業者養成研修	11/21-12/12 (うち3日)	瀬田北市民センター	30人	33人	30人	29人

7. 広報・啓発事業

事業内容 通信「ぬぷぼん」の発行などを通じての広報・啓発活動
 実施日時 通年(別記)
 実施場所 事務所・各開催地など
 対象者 不特定

上記、研修開講事業の宣伝のため、龍谷大学の協力を得ているが、その際、特に今年度は多くの時間を頂くことができた。良い機会なので、障害のある方の生活を紹介し、地域生活の現状と課題を紹介する時間とさせて頂いた。その他の活動は以下の通り。

・通信発行

実施内容	実施日
通信「ぬぷぼん」9号の発行	7月
通信「ぬぷぼん」10号の発行	1月

・会議出席など

実施内容	担当者	実施日
ヘルプ事業所大津協議会 定例会	阿部	毎月
大津市自立支援協議会 全体会／運営会議	染井	隔月／毎月
大津市相談支援事業所連絡会	染井	毎月
大津市福祉有償輸送運営協議会	染井	10/23・2/25

・外部研修講師など

実施内容	担当	実施機関	実施日
重度訪問介護従業者養成研修(うち2h)	染井	NPO法人ディフェンス	6/20
訪問介護員2級・全身性障害者ガイドヘルパー研修(うち4h)	染井	労協センター事業団	7/2・10/26・2/19
座談会「福祉職場の先輩に聞く」	國實	龍谷大学	7/22
知的障害者介護技能等習得事業(うち2h)	染井	振興センター	9/14

8. 各種研修への参加

事業内容 従業員の資質向上のため、各種研修へ参加、又は実施する。

実施日時 通年(別記)

実施場所 事務所・各開催地など

対象者 従業員

・研修参加、見学など

研修内容	参加者	実施日
バリアフリー展	染井	4/18
滋賀県 障害者ホームヘルプスキルアップ研修	目片	9/3・10・18
難病コミュニケーション支援講座	目片	9/19
ヘルプ協研修会 「発達障害の理解と支援」	阿部	9/30
全日本手をつなぐ育成会 第58回全国大会滋賀大会	國實・目片	11/14
「てんかんのメカニズムと対応について」	國實・上井	11/25
NASVA 整備管理者講習	國實	2/4
アメニティーネットワークフォーラム	染井・國實・宮村	2/5～2/7
NASVA 運行管理者講習	阿部	2/16
ヘルプ協研修会 「精神障害のある方の地域支援」	阿部・國實・宮村	2/24
「精神障害者の理解とケア」	上井	2/27
「難病患者が健やかに過ごすために」	上井	3/12
採用時研修(くらしの宝島)	宮村	3/17

・主催した研修など

内容	講師	担当	参加	実施日
公開講座「当事者(知的や精神に障害のある方)の思いやニーズに添った関わり方とは？」	本谷氏	谷井	34名	10/4午前
ヘルパー交流会		上井	11名	10/4午後
ヘルパー交流会		國實	15名	12/14

上記以外に、2/28にスキルアップ研修を企画していた。第1部で料理の基礎を学び、第2部で交流会を実施する計画であったが、参加申込者が少なかつたために取り止めた。今後の研修計画に課題が残った。

今後の内部研修のため、以下の方針、または検討材料を挙げた。

- ・まずは常勤ヘルパーの中で常識や価値観の違いを確認しあう。
- ・全ヘルパー対象にしたものとは別に、5～10人対象の研修を実施する。これを数回行うことで、年間の中で全員参加を目指す。
- ・魅力ある内容にするため、登録ヘルパーから企画に対する意見を吸い上げる。そのため、学生の研修担当を3～4人選任し、研修、交流会で主体的に動いてもらうことを検討。

事業支出額(全事業計) 63,477,449円